

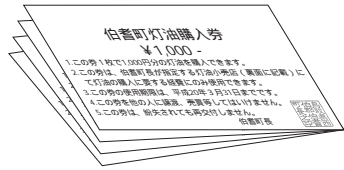
まちの施策

平成20年第1回伯耆町臨時議会が1月23日に開かれ、原油価格高騰に伴う暖房用灯油助成事業など一般会計補正予算案のほか4議案が原案どおり可決されました。

暖房用灯油助成事業

原油価格の高騰に伴い灯油価格が昨年に比べ大幅に値上がりしている状況の中での緊急的支援策として、暖房用灯油購入の助成を行います。

この事業は、平成19年度の町



民税非課税世帯を対象として、1世帯につき1万円分の灯油券を配達記録郵便により配付しています。この券は、町内の灯油小売店で暖房用灯油を購入する際に使用でき、平成20年3月31日まで有効です。

障害児通学支援事業

小・中学校 特別支援学校の小・中学部に通う障害児で通学時に移動の介助の必要がある児童を対象としたものです。

この事業は、利用者がサービス利用にかかる経費の1割を負担することで、社会福祉法人等のヘルパーによる通学時の移動の介助を受けることができます。

岸本放課後児童クラブに

定員を上回る47名が

利用を希望

伯耆町では、仕事などで昼間家庭にいない保護者の子育てを支援するために、児童の安全と健全育成を目的に放課後児童クラブを開設しています。



今回、平成20年度の利用者を募集したところ、岸本放課後児童クラブの定員35名を超える47名の利用希望があったことから、安全面などを考慮し、引き続き岸本小学校内の教室とあわせて一昨年度まで使用していた施設を再整備のうえ2箇所児童の受け入れを行う方向で準備しています。

4月からは、 新しいこしき保育所へ

施設の老朽化と多様化する保育ニーズに対応するため、こしき保育所を新たに建設しています。3月中には、施設が完成し機能移転を行い4月からは、新しい保育所で園児を迎えます。

こしき保育所の建設にあたっては、町議会の地方分権改革推進特別委員会からの提言を受け、旧保育所では定員90名でしたが、新しい保育所では120名まで受け入れが可能となります。また、乳児保育や一時保育などの専用の部屋も設けました。

これにより、こしき保育所では4月から乳児保育と一時保育が実施されます。また、あわせて延長保育も実施することとしています。



町では、平成17年度に策定した伯耆町次世代育成支援行動計画に沿って保育事業に取り組んでいくこととしています。

一時保育とは、保育所での子育て支援のひとつで、通常自宅等で育児をしている保護者が、急病や勤務形態の変化等の理由により育児ができなくなった場合に、一時的に保育所へ預けることのできるサービスです。

一時保育の対象となる児童や利用方法などについては、決まり次第お知らせします。

